注記事項

１．貸借対照表関係

⑴　その他行政コスト累計額に係る注記

その他行政コスト累計額のうち、出資を財源に取得した資産に係る金額　△99,477,534,218円

⑵　減損会計に係る注記

①　当事業年度において減損を認識した固定資産は以下のとおりです。

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

区分	管理部等	資産名称	用途	場所	種類	帳簿価額
A	観音台第３管理部	第４感染動物舎	研究業務用	茨城県つくば市	建物	11,782,272円
A	観音台第３管理部	フリーバーン動物棟	研究業務用	茨城県つくば市	建物	4,488,518円
A	藤本・大わし管理部	第４硝子室	研究業務用	静岡県島田市	建物	5円
					構築物	316,218円
A	北海道管理部	採取虫媒隔離ハウス	研究業務用	北海道札幌市	構築物	42,875円
A	九州沖縄管理部	隔離圃場調査室	研究業務用	熊本県合志市	建物	4,921,079円
A	九州沖縄管理部	ガラス室⑵	研究業務用	宮崎県都城市	建物	1,780,805円

イ　減損の認識に至った経緯

区分Ａ資産は、他の施設への集約化及び施設の老朽化に伴い使用しないと決定したため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

区分	管理部等	資産名称	種類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
A	観音台第３管理部	第４感染動物舎	建物	0円	11,782,272円
A	観音台第３管理部	フリーバーン動物棟	建物	0円	4,488,518円
A	藤本・大わし管理部	第４硝子室	建物	0円	5円
			構築物	0円	316,218円
A	北海道管理部	採取虫媒隔離ハウス	構築物	42,875円	0円
A	九州沖縄管理部	隔離圃場調査室	建物	0円	4,921,079円
A	九州沖縄管理部	ガラス室⑵	建物	0円	1,780,805円

エ　回収可能サービス価額の算出方法

区分Ａ資産は、老朽化により売却見込みがないことから使用価値相当額により測定しており、当該資産の使用が想定されていないことから、回収可能サービス価額を０円として算出しております。

②　当事業年度において減損の兆候が認められた固定資産は以下のとおりです。

ア　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所等の概要

区分	管理部等	資産名称	用途	場所	種類	使用しなくなる日
A	北海道管理部	美唄試験地	研究業務用	北海道美唄市	土地	—
					建物	
					構築物	
B	東北管理部	家畜排泄物処理施設	研究業務用	岩手県盛岡市	建物	—
B	東北管理部	めん羊舎給餌上屋	研究業務用	岩手県盛岡市	建物	—
C	観音台第１管理部	作物地域性解析実験棟	研究業務用	茨城県つくば市	建物	令和７年度以降
					構築物	
C	北海道管理部	牧草調査室	研究業務用	北海道札幌市	建物	令和７年度以降
C	北海道管理部	草類総合農機具庫	研究業務用	北海道札幌市	建物	令和７年度以降
C	北海道管理部	イネ科牧草隔離温室附属機械室	研究業務用	北海道札幌市	建物	令和７年度以降
C	北海道管理部	サンプル冷蔵室	研究業務用	北海道札幌市	建物	令和７年度以降
C	北海道管理部	草類総合作業室	研究業務用	北海道札幌市	建物	令和７年度以降
C	北海道管理部	イネ科牧草隔離温室	研究業務用	北海道札幌市	建物	令和７年度以降
C	北海道管理部	マメ科牧草交配温室	研究業務用	北海道札幌市	建物	令和７年度以降
C	北海道管理部	草地硝子網室	研究業務用	北海道札幌市	建物	令和７年度以降
D	観音台第３管理部	第２感染動物舎	研究業務用	茨城県つくば市	建物	—